

平成30年度 事務事業評価シート

事務事業名		初期消火体制の強化				所管	総務部 危機・災害対策課			
事務事業の概要	行政計画	事業NO.	101	計画事業名	初期消火体制の強化					事業の開始・終了年度
	長期総合計画体系	[基本目標] II-1. 個性を活かしたまちづくりの推進								
		[小 柱] (4)安全・安心の充実強化								
		[施策] ①地域防災力の向上								
	根拠法令等	要綱		[法令等名]	台東区消火器薬剤詰替実施要綱					
	事業対象	直接の対象 : 一般区民等 最終的な対象 : 同上								
	事業目的	区で設置している消火器の薬剤の詰め替えや保守点検を定期的に行うとともに、消火資器材の整備を行い、災害時の初期消火体制の強化を図る。								
事業内容 [29年度]	<ul style="list-style-type: none"> <li>・該当消火器の更新(664件)及び薬剤の詰め替えなどの維持管理(68件)</li> <li>・避難所等に配置した区所有D級可搬ポンプの保守点検委託(年一回、50台分)</li> <li>・重点地域(密集住宅市街地整備促進事業地区及び災害対応活動困難を見込む総合危険度の高い地区)への消火資器材の整備(まちかど消火器ハリアーを谷中地域2件・池之端地域2件配備)</li> <li>・内閣府による「地震時等に著しく危険な密集地域」に相当する地域への感震ブレーカー設置助成(7件)及び配布(455件)</li> </ul>									
委託の有無	一部委託		委託内容	消火器薬剤詰め替え、消火器外観点検・清掃、D級可搬ポンプ保守点検等						
補助金の有無	なし									
事務事業の実績	種 別	指標の名称		単位	31年度 目標値	27年度 実績	28年度 実績	29年度 実績		達成率
	活動指標	消火器更新本数		本	952	682	722	664	668	99.4%
		薬剤詰め替え本数		本	336	246	62	68	61	111.5%
	成果指標									
	決算額 (単位:千円)					27年度		28年度		29年度
	事務事業コスト (単位:千円)	人にかかるコスト(人件費など)				2,807		2,498		2,933
		物にかかるコスト(物件費・維持補修費)				12,929		10,650		11,483
		その他のコスト(扶助費・補助費など)				0		62		197
		総経費				15,736		13,210		14,613
	財源項目 (単位:千円)	受益者負担額(使用料・手数料・負担金など)				0		0		0
その他特定財源(国や都の支出金・財産収入など)				0		0		0		
一般財源(区負担額)				15,736		13,210		14,613		
前回評価から29年度に改善した事項	29年度は対象地域の谷中2・3・5丁目において、設置助成に加え、簡易型感震ブレーカーの配布を開始した。									
評価の視点	評価	評価の理由								
	必要性	4	火災被害軽減のため、引き続き、重点地域への消火資器材の充実を図る必要がある。							
	効率性	3	街頭消火器の詰替えや交換、D級可搬ポンプ、スタンドパイプなど消火資器材の整備、維持管理を計画的に実施している。							
	手段の適切性	3	災害時に資器材を有効に活用するため、消防署や消防団と連携した消火訓練を重ねて実施している。							
	目的達成度	3	各避難所に加え、重点地域への消火資器材配備を行った。また、消火器の有効期限の把握など適正な管理に努めている。							
[総合評価] ※上記4つの視点を踏まえ、事業全体を評価。区民生活への影響を十分考慮すること。						今後の方向性				
災害時の初期消火の強化に向けて、感震ブレーカーの設置助成に加え、新たに簡易型感震ブレーカーの配布を行った。火災への早期対応、延焼拡大の防止のため、消火器の維持管理および重点地域への消火資器材整備を引き続き行っていく。また、多くの住民等への操法訓練の実施など、地域における初期消火体制のさらなる強化を図る。						維持		拡大 改善 維持 縮小 廃止・終了		